

21
春闘

申11号 2021年度賃金引き上げ等に関する申し入れ

青年部が団体交渉で訴えてきたこと！

- 2月13日に発生した地震で昼夜を問わず早期復旧に向けて尽力してきた。東日本大震災の教訓を生かし、コロナ禍でも早期の運転再開を実現してきたのは現場の組合員・社員の労働の質が高まってきたからだ！
- 雪害は昨年の比較にならない程、多くの輸送混乱が発生した。あらゆる系統で除雪作業を行い、運転再開に向けて12時間以上列車内で待機していた乗務員もいた。また駅間で停車しないよう乗務員が指令に情報提供したり、主体的に判断して安全・安定輸送の確保に努めてきた。経験を積み重ねてきたからこそ被害を最小限に食い止めてきたのは、一人ひとりの労働の質が高まっている証拠である。
- 夏季手当や年末手当が支払われる前提でローンを組んでいる。基本給が低い当社、年収が減少している。更に物価上昇や在宅時間増加により光熱費が増加している。ローンの支払いもあるため、将来のライフプランを立てられない。
- 赤字解消のため努力してきた。頑張りが形として現れなければモチベーションが上がらない。入社10年未満の若手の離脱者が増えている。賃金面における関心度は増加している。
- 第二基本給について理解が深まっていない。国鉄時の退職金の抑制を目的にしたものであり、役割は終わっている。今後の将来を担う若手の労働条件向上のために第二基本給は一旦凍結し、退職制度について議論すべき。

会社の見解

- 地震対応や雪害対応に尽力していただき感謝申し上げます。
- ローンや持ち家、車などは社員個々の問題。地方に行けば地場賃金を上回る。首都圏においても決して安くない。社員本人が設計を立てていただきたい。
- 第二基本給については人件費の影響が大きい。退職金・定年延長とセットで議論したい。65歳までに退職金をもらえないのか以前から言われている。老後2000万円必要だと言われて、それなりに危機感はある。

**社友会では会社と団体交渉することが出来ません！
JR東労組に再結集し、安心して働ける職場を実現しよう！**

